Q&A

Q. エントリーや法人説明会に参加したいのですが。

A. 新卒向けの求人サイトに様々な情報をアップしています。直接求人サイトにアクセスされるか、当法人のホームページの採用情報から求人サイトへ移動して登録してください。

Q. 採用試験の流れを教えてください。

A. まずは履歴書（Aサイズ）をお送りください。それを基に書類選考を行い合格された方は筆記試験・一次面接へと進んでいただきます。それに合格された方は最終の二次面接へ進み、全てクリアされた方が内定となります。

Q. 福祉学部ではないのですが応募できますか。入社するまでに必要な資格はありますか。

A. 応募する際に学部の制約はありません。ボランティア等での障害のある方に接した経験があれば問題ありません。
社会福祉士等の資格が無くても応募することは可能ですが、自動車普通免許（AT可）は必要です。

Q. 職場の雰囲気はどうですか。

A. 各施設により多少の違いはありますが、どの施設も20代から30代の正職員が多く在籍しています。年齢が近いこともあり、非常に親しみやすい職場環境になっていると考えています。仕事をする上で必要な「上司部下の関係」はあるものの、同じ支援の道を志す仲間として、新しい支援のあり方に挑戦するチームとして、一緒に成長していく環境があります。

Q. 勤務地はどのように決まりますか。

A. 当法人が運営するのは児童から高齢の障害者までが利用する17の施設（大阪市・高槻市・枚方市）です。選考や入職時の際に希望を聞かせていただき、できるだけ希望に沿った形での配属を行っています。異動や転勤もありますが、その際も面談を行い、希望を伺っていますので、安心して業務に取り組んでいただきたいと考えています。

Q. 給与・賞与等の労働条件について教えてください！

A. 法人ホームページにあります求人票をご確認ください。昇給（年1回）や賞与（年2回）は、個人の能力や実績によって変わってきます。その他には、通勤手当、業務手当、住宅手当、扶養手当、資格手当などがあり、本人のスキルアップや努力を大いに反映する給与体系になっているため、やりがいも感じていただけると考えています。

Q. 研修制度、福利厚生について教えてください。

A. 当法人は短時間職員制度があり、仕事と家庭を両立できる環境が整っています。家庭を持つ職員でも長く働き続けることができる環境は当法人の自慢の１つです。その他、資格取得やキャリアアップを目指す職員も短時間職員制度を利用しています。また、海外への留学も支援するなど、職員のスキルアップを応援する環境を整えています。

Q. 面接に臨む際の注意点を教えてください。

A. 面接では皆さんの長所や得意なことを大いにアピールしていただきたいと考えています。また、「学生時代に取り組んできたこと」「福祉に対しての想い」「当法人を選んだ理由」など、面接では皆さんの仕事に対する熱い想いを聞かせてください。

お問い合わせ先

社会福祉法人北摂杉の子会　総務部
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル203
TEL(072)662-8133　FAX(072)662-8155
担当 / 河辺（カワベ）

www.suginokokai.com/
saiyo@suginokokai.com

地域に生きる

採用案内

求める人材像

1. 「地域に生きる」という法人の理念に共感し、その実現に努力すると共に、法人の持続的発展を常に考えて行動する職員であること
2. 知的障害や発達障害のある人たちに対する支援に強い情熱を持ち、利用者の個別ニーズに基づいて、利用者およびその家族に対するサービスの向上に絶えず努力する職員であること
3. 福祉のプロとしての自覚と誇りを持ち、利用者およびその家族に対してより適切なサービスの提供や説明を果たせるよう専門性を磨くと共に、自らキャリアアップに努める職員であること
4. 組織の一員としての自覚と責任感を持ち、自分を取り巻く人たちと密に連携、協力して、業務の向上、改善に積極的に取り組む職員であること

社会福祉法人 北摂杉の子会

「地域に生きる」の理念に共感する、そんなあなた の若い力と情熱を必要としています。

先輩職員からのメッセージ

療育支援

水口 真奈

所　属: 自閉症療育センターLink（療育支援）
大学での専攻: 児童学科児童心理学
資　格: 臨床発達心理士・保育士・幼稚園教諭（第一種）

先輩の声

私は自閉症療育センターLinkで発達障害のある児童の方を支援しています。
“発達障がい”は、外見からは何に困難さをもっているのかわかりにくいが故に、誤解されたり、不適切な対応を受けてしまうことが多くあります。だからこそ、子ども達が正しく理解され、必要な支援を受けることができるように、その子どもの抱える困り感を、その子に関わる周りの大人達へ通訳していくことが私達の役割だと思っています。
具体的な仕事内容としては、発達検査等のアセスメントを実施し、個別支援計画の作成、個別療育、保護者への相談・研修等になります。また、その他にも地域の園や学校、関係機関の職員への巡回指導や研修なども行っています。
私たちが、子どものことを理解し、子どもの持つ強み・興味関心をうまく生かして一人ひとりに合わせた支援を行うことで、子どもの行動は変わります。そして保護者も変わります。責任も重く大変な面はありますが、そうした変化を身近に感じることができ、とてもやりがいの持てる仕事です。
今後も日々自己研鑽し、少数派の発達障がいの人も、その人らしく自尊心をもって生きられるような社会の実現を目指していきたいと思っています。

ある日の一日

08:45	出　勤 朝　会
10:00	保護者研修 【 自閉症の特性について講義 】
12:00	お昼休憩
13:00	来所相談 【 所属園の先生からの相談 】
14:30	療育準備 【 個別スケジュールの準備 】
15:00	療育 【 先生とお勉強の時間 】
16:00	指導案作成
16:30	支援グッズの作成 【 療育教材の作成 】
17:10	掃除・終会
17:30	退　勤

就労支援

髙岡 矩子

所　属: ジョブジョイントおおさか -たかつきブランチ-（就労支援）
大学での専攻: 福祉社会学部福祉社会学科
資　格: 社会福祉士

ある日の一日

08:45	出勤、書類確認
09:30	JR摂津富田駅でご利用者Aさんと待ち合わせ、通勤支援
10:30	実習先到着、Aさんの実習支援
12:00	元ご利用者Bさんの就職先へ移動、休憩
13:00	Bさんの就職先訪問、 Bさん・職場の方からの聞き取り
14:30	ジョブサイトひむろに戻る
15:00	ご利用者Cさんと面談
15:50	就労グループミーティング
16:00	支援報告書、面談記録の作成
17:15	連絡会
17:30	退勤

先輩の声

私は、ジョブジョイントおおさか-たかつきブランチ-で、一般企業での就職を目指しておられるご利用者の就労支援を担当しています。
就労支援は、講座や作業活動など、ご利用者のスキルアップを図るための施設内プログラムの実施から、企業での実習支援、面接同行などの就職活動支援、就職後も安定して働き続けるための職場での支援など、多岐に渡ります。また、ご本人だけでなく企業に対しても、障がい特性の説明や、必要な支援ツール・環境設定の提案など、安心して障がい者雇用を進めていただくための支援も行います。就労支援では、障がいのある方、企業の双方の視点からの支援が必要となります。障がいのある方が力を発揮し、かつ企業にとっても利益となるように調整していくことが大切です。
障がいのある方と企業をつなぐ支援を行っていく中で、障がいのある方でも本当に企業から必要とされ、企業の一員としていきいきと働いておられる姿を間近で見ることができると、私自身も励まされ、働く力をもらえます。一人でも多くのご利用者の「働きたい！」という願いを叶えるために、これから福祉の道に進もうと思っているあなたと一緒に働くことができる日を楽しみにしています。

施設入所支援

苅谷 厚志

所　属: 萩の杜（施設入所支援）
大学での専攻: 社会福祉学科
資　格: 社会福祉士

先輩の声

私は「萩の杜」で生活支援員として勤務しています。萩の杜はご利用者の生活の場として、入所しておられる51名の24時間、365日の支援を行っています。
萩の杜はご利用者の相性や障がいの特性に配慮した4つのユニットに分かれており、ユニット毎の日課で生活しています。起床から日中活動への送り出し、帰ってきてからの就寝、就寝後の夜間支援等、交替勤務で支援を行っています。その中で、食事や排せつ、入浴、睡眠といった生活を送るうえで大切な生活基盤を整えることや、個々のニーズに合わせて、買い物や調理実習等を週末に行っています。萩の杜全体としては、年に1回小集団での旅行や年末のクリスマス＆忘年会なども企画して余暇活動にも取り組んでいます。また、ご利用者が気持ちのいい環境で生活ができるように、居住空間の清掃等についても取り組んでいます。
萩の杜はご利用者の生活をトータルで支援することのできるとてもやりがいのある事業所です。是非、萩の杜で福祉職のプロとして支援の基本を学びながら、一緒にご利用者のより豊かな生活を目指して支援していきましょう！

ある日の一日

06:30	出勤（早出職員）
07:30	朝食（セッティング、食事介助も含む）
10:00	居室等清掃・消毒、入浴準備
10:40	ご利用者と運動または入浴。
12:00	昼食（配膳のみ。職員の休憩も含む。） ※昼食外食に行くこともある
12:45	利用者出勤（午後からの出勤者のみ）
13:15	出勤（遅出職員）
13:15	遅出職員と引継ぎ
15:00	利用者帰所
15:15	退勤（早出職員）
16:00	入浴
18:00	夕食　※外食に行くこともある
19:30	ティータイム
20:00	就寝準備
22:00	退勤（遅出職員）

日中活動支援

内藤 逸己

所　属: ぷれいすBe（日中活動支援）
大学での専攻: 経営学科
資　格: 特になし

ある日の一日

08:45	出　勤 ご利用者さん受入準備・朝礼
08:50	送　迎
10:00	個別活動
11:45	食事介助
12:30	休憩・見守り
13:00	集団活動
15:30	ご利用者帰宅送迎
16:00	フロア片づけ・記録等
17:00	ミーティング
17:30	退　勤

先輩の声

私は高槻地域生活総合支援センターぷれいすBeに勤務しています。現在は重症心身障害者生活介護事業に携わっています。重症心身障害者（以下重身）とは重度の知的障害と肢体不自由が重複している方の事をいいます。
私は入職するまで重身の方にボランティアで数時間ほどしか接したことがなく、最初は恐るおそる関わっていました。その気持ちが伝わり、ご利用者の体に力が入って着替えがしにくかったり、食事介助がうまくいきませんでした。重身の方は感覚が鋭く支援者の気持ちや周りの状況にとても敏感に反応されます。そのためコミュニケーションが大切で、介助するときには必ずお声かけをして、お互いに何をするのか共通理解をすることが大事です。また、ご利用者にとって言葉だけがコミュニケーションではなく、目線や体の変化など、体全体を使って皆さん意思を伝えてくださいます。それに気付けた時にとても嬉しくなり、もっともっとご利用者のことを知りたいと思いました。それが最初に重身の方と関わりたいと思ったきっかけかもしれません。人と関わることが好きな方は是非、重身の方と一緒に過ごしましょう。日々の関わりから様々な事を学んでいけると思います。